P M

HELLO

ポートランド・ミニガイド

from

PORTLAND

Oregon, USA

PORTLAND MINI GUIDE 2023–24

TRAVEL PORTLAND in collaboration with TRUE PORTLAND

G

米国北西部・オレゴン州最大の都市ポートランド。クリエティブシティや美食都市として知られ、コロナ禍以前には日本からも多くの人々が先進的な価値観や発見を求めて訪れたこの街は今、どんな状況なのか？変化の多い時代の中、ポートランドの人たちは今、未来へ向けてどのように考え、歩んでいるのか？　コロナ禍を乗り越えたポートランドのシェフやクリエイター、ショップオーナーたちにリアルな声を聞いた。そして、ガイドブック『TRUE PORTLAND the unofficial guide for creative people 創造都市ポートランドガイド』の編集チームが独自の視点でキュレートしたポートランド体験を、EAT（食べる）、LISTEN（聞く）、MAKE（つくる）などの動詞を切り口に紹介。多様性のあるポートランドの今を感じる旅へ。この街の魅力を形づくってきたDIYスピリットやクリエイティビティは今もそこにある。

PORTLAND MINI GUIDE 2023–24

TABLE OF CONTENTS

P_06
Interview: Gregory Gourdet (Kann)
P_08
Interview: Matt Vicedomini (Matt's BBQ)

P_10 EAT

P_14
Interview: Ian Williams (Deadstock Coffee)
P_16
Interview: Ben Parsons (Baerlic Brewing)

P_18 DRINK

P_22
Interview: Bijan Berahimi (FISK)

P_24 GET INSPIRED

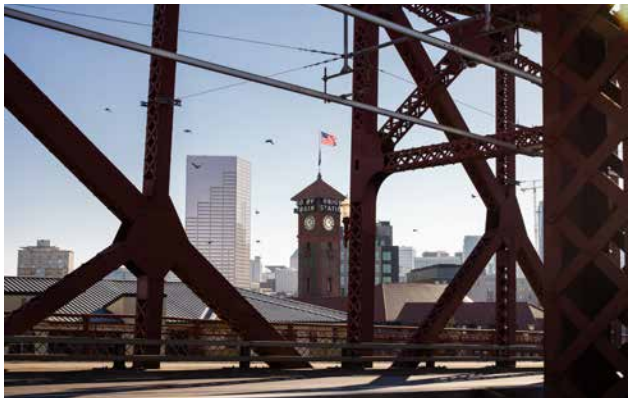
P_25 MAKE

P_28
Interview: Eloise Augustyn (Sweedeedee)
P_30
Interview: Eric Isaacson (Mississippi Records)

P_32 LISTEN

P_33 RUN

P



M

P_34
Interview: Meghan Sinnott (Pedalpalooza)

P_36 DIG

P_38
Interview: Debra Porta (Pride Northwest)

P_40 THINK

P_41 LOVE

P_42 SLEEP

P_43　バラの街ポートランドからごあいさつ
　　市長 テッド・ウィーラー

P_44　ポートランドの基本情報
P_45　ポートランドへの道のり
P_47　ポートランド市内の歩き方
P_49　周辺地域紹介／現地ツアー

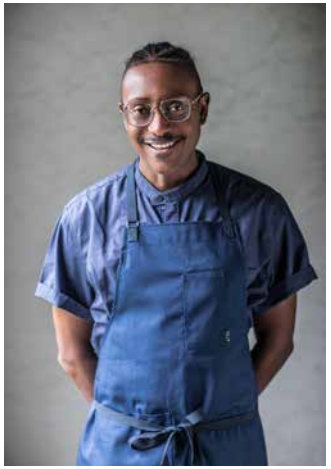
※住所などの情報は2023年3月時点のもの。

G

Gregory Gourdet

Chef / Founder
Kann

ルーツであるハイチ料理の魅力を伝える使命感



Kann
カン
548 SE Ash St.
kannrestaurant.com
kannrestaurant

Kannは、ハイチの伝統を尊重した料理を薪火で調理しているレストランです。ポートランドがある太平洋岸北西部の食材も使っています。

コロナ禍の影響でレストラン業界もかなり大きな打撃を受け、ポートランドを代表していた多くのレストランも閉店を余儀なくされました。これは全米、全世界で起きたことですが、この街は食に心を奪われているので、レストランはとても重要です。そのおかげで、私たちのような料理人が自分たちの仕事を続け、レストランを再建したり、新しいレストランをオープンする機会がたくさん生まれました。

この数年間は非常に忙しかったですね。 2020年末に料理本を書き終えた後、数カ月間はKannのコンセプトを模索しながら、複数の場所でポップアップを行いました。そして最後の9カ月は、様々なタイプのレストランを研究しようと、アメリカ中をいろいろと旅行することもできました。

コロナ禍以前との違いとして、サプライチェーンの問題や、備品の調達など多くの課題があって、それは本当に大変なことです。だから、決断力と、物事を確実にやり遂げたいという気持ちが必要なんです。 最近、店を軌道に乗せるためには、より一層集中しなければならないと感じています。日々の生活や成功の中で、挫折しそうなことはたくさんありますから。

ポートランドに来るようになったのは、モンタナ州の大学に通っていた頃からです。車で数時間の距離なので、よくレイブに行ったり遊びに来ていました。人生の中でいろいろなことにオープンになっていた時期で、友人がちょうどポートランドでの仕事の機会を紹介してくれたので引っ越してきて、それからずっとここにいるんですよ。

料理をとおして物語を共有したい

私の家族はハイチ出身です。ハイチ料理のレストランをオープンした理由は、私が独立してオープンする最初のレストランということで、個人的な使命感があったからです。多くの人はハイチ料理のことを知らないと感じていましたが、だからこそ私は、世界で最も美味しい料理の1つだと思うハイチ料理のことを伝える絶好の機会だと思いました。

料理の説明をする際には、ハイチの物語を共有したいんです。ハイチの伝統的な料理の味や食材がどんなものかを理解してもらうとともに、食事をとおして歴史や文化を体験してもらえたらと思います。メニューの3分の1から半分が伝統的なハイチ料理で、残りはカリブやアフリカの料理にインスパイアされた料理と地元の季節の料理です。

ハイチ料理で主に使う食材としてはお米とヤムイモ、サツマイモ、プランテン（調理用バナナ）、タロイモといったでんぷん質の野菜が多いです。豆もたくさん食べますし、豆のソースでご飯をつくります。魚や牛肉、鶏肉はマリネにしてから調理します。トマトやタマネギ、ニンニク、スコッチボネット（トウガラシの一種）、チリ、タイム、ブラックペッパーなどを使って調理することもよくあります。 だから、すごくソウルフルで味わい深く、とても安らぐ料理なんです。

つくっているのがハイチ料理なので、スタッフにも多様性を持たせたいと常に思っています。 私はこれまで幸運なことに、常に私を信じてチャンスを与えてくれる人たちと一緒に働くことができました。 だから私も、チームのためにそのような人物になりたいと思いますし、彼らがサポートされていると感じられるようにしたいんです。

グレゴリー・グルデ

ニューヨーク州出身。クリナリー・インスティテュート・オブ・アメリカ卒業後、ジャン・ジョルジュ氏のレストランでキャリアを重ねる。2010年から2019年までポートランドのレストラン Departure で腕をふるった後に独立し、2022年にハイチ料理のレストラン Kann をオープン。2021年には最初の料理本『Everyone's Table』を出版。『Top Chef』でファイナリストに2度選出されるなど、テレビ番組でも注目を集めているシェフ。

Matt Vicedomini

Chef / Owner
Matt's BBQ

Matt's BBQ
マッツ・バーベキュー
4233 N Mississippi Ave.
mattsbbqpdx.com
mattsbbqpdx

フードカートがこれほど歓迎される都市はあまりない

Matt's BBQは2015年にオープンしました。最初の2年ほどは従業員は私一人で、小さな燻製器を自作して、そこから発展させてきました。お客さんたちが本当に喜んでくれて、今は3つのフードカートを運営しています（そのうち2つはBBQタコス）。

バーベキューとの出会いは、偶然見つけたという感じです。私はニューヨーク出身のシェフで、たくさんの料理をつくってきました。ミシュランの星付きレストランで料理をしていたこともあります。その後、旅に出たかったのでニュージーランドとオーストラリアへワーキングホリデーで行きました。働き始めたメルボルンのパブにはテキサスから来た燻製器があったので、そこでテキサススタイルのバーベキューをつくっていました。

バーベキューについて大した経験はなかったのですが、なんとなく始めてみたら、どんどんハマってしまったんです。 薪の中の生きた火を使う仕事と、毎日何度もバーベキューの調理をすることが本当に好きになりました。ただオーブンに肉を入れて、タイマーをセットするだけじゃないんです。すべての工程がとてもアクティブで、多くの注意と忍耐を必要とします。

アメリカに戻ってきてからは、ミニバンを買って3カ月間、車で周りました。立ち寄った場所はすべて、全米のバーベキューの名所です。そしてテキサスのオースティンで、フードカートで肉を燻製している人たちに出会い、惹きつけられました。ニューヨークから来た私にとって、レストランをオープンするというのは不可能に思えていましたが、フードカートと燻製器を買えば、自分でもやっていけるんじゃないかと思ったんです。

ポートランドはアメリカのフードカートの中心地で、素晴らしい屋台のシーンがあります。この機会にテキサス・バーベキューで自分なりにここでやってみようと思い、一番安い中古のトレーラーを買って、建設業者の友人から組み立て方を学びました。バーベキューの腕を磨いてお客さんが喜んでくれるかどうか、試してみたかったんです。

お腹を空かせて来てビールを飲みながら楽しんで

ポートランドのフードシーンで特徴的なのは、まずバラエティが豊富なこと。そしてフードカートや多くのレストランを運営しているのは、大きな会社ではありません。だから厨房にいる人やカクテルをつくっている人も、その店のためにすべてを注いでいるオーナーである可能性が高い。それぞれの人の料理を味わうことができるんです。ニューヨークのような大都市とは違って、ここではスペースを見つけて、夢を追いかけ、何かを実現するチャンスがあります。そして、そこから本当に面白い料理やコンセプトが生まれています。私がやっているフードカートについても、これほどまでに歓迎されて、人々が気にかけてくれる都市はあまりないでしょう。すごく感謝しています。

コロナ禍は誰にとってもチャレンジングなことだったと思います。私たちも他のみんなと同じようにデリバリーにとても力を入れていました。でも今はそれも終わって、物事が回復し始めたのはうれしいことです。

日本からやってくるみなさんに、うちではまずブリスケットを注文してほしいですね。全部美味しいけど、一番売れているメニューです。お腹を空かせて来て、ビールを飲みながら楽しんでください。

グループや家族で来る際には、他の料理が食べたい人もいると思います。僕たちのフードカートがあるのは、他にもいくつかのフードカートが集まっているフードカート・ポッドなので、それぞれが好きなフードカートで注文して、違う種類の料理をみんなで一度に味わうこともできますよ。

マット・ヴィチドミーニ

ニューヨーク州出身。料理人としてレストランで働いた後、ワーキングホリデー先のオーストラリアでテキサススタイルのバーベキューをつくり始める。帰国後、ミニバンで3カ月全米を周った後、2015年にポートランドでMatt's BBQをオープン。同じバーベキューの肉を使ったタコスを提供するMatt's BBQ Tacosも2店舗、ポートランドで営業している。レストランEEM（p.11）の共同オーナーの1人でもある。

EAT Brunch

定番からニューカマーまで、ポートランドは朝ごはんの選択肢もバラエティに富んでいる。週末は家族や友達とブランチに出かけるポートランダーも多い。

Mama Dut

インスタグラムをきっかけにビーガン豚バラ肉のデリバリーが人気となり、ビーガン・ベトナム料理の店をオープン。店名はベトナム語で「ママ、食べさせて」の意味。

ママ・ドゥ / 1414 SE Morrison St. / mamadut.com
mama.dut.foods

Broder Cafe

デンマーク風パンケーキや、燻製したマスのハッシュ、サンドイッチなど北欧料理の朝ごはんならここ。モーニングの蒸留酒も。

ブローダー・カフェ / 2508 SE Clinton St. / broderpdx.com
broderpdx

Måurice

焼きたてのペストリーをはじめ、フランスとノルウェーの料理に根差した軽食を、ダイニングルームに招かれたような空間で。

モーリス / 921 SW Oak St. / mauricepdx.com
maurice_pdx

Matta

ハンバーガーやチキンサンドをはじめ、カリフォルニア育ちの彼らならではのアメリカ風ベトナム料理のフードカート。

マッタ / 807 NE Couch St. / mattapdx.com
mattapdx

Nong's Khao Man Gai

鶏肉が柔らかくてジューシーなタイ風チキンライスが看板メニュー。家でもこの味を再現できるオリジナルのソースも人気。

ノンズ・カオマンガイ / 609 SE Ankeny St., Suite C
khaomangai.com nongskhaomangai

Pine State Biscuits

グレービーソースのたっぷりかかったフライドチキンをビスケットではさんだ、ポートランドの朝ごはんの定番。

パイン・ステート・ビスケッツ / 2204 NE Alberta St.
pinestatebiscuits.com pinest8biscuits

Proud Mary Coffee

メルボルン発の人気コーヒーロースターのカフェ。美味しいコーヒーだけでなく、フレッシュでヘルシーな朝食メニューを提供。

プラウド・マリー・コーヒー / 2012 NE Alberta St.
proudmarycoffee.com proudmaryusa

EAT Dinner

地産地消が盛んであることはもちろん、Kann（p.6-7）を含めて、アメリカ以外にルーツを持つシェフたちが食べて育った味をポートランドスタイルで提供する店も増えている。

EEM

Langbaanなどのタイ料理店を手掛けるシェフと、Matt's BBQ、敏腕バーテンダーが立ち上げたレストラン。タイ料理BBQとバケーション気分を味わえるカクテルを。

イーム / 3808 N Williams Ave. #127 / eempdx.com
eempdx

Coquine

居心地のいい空間で、地元食材を活かしてサステナビリティにも配慮したフランス料理を。よりカジュアルなカフェも併設。

コキーヌ / 6839 SE Belmont St. / coquinepdx.com
coquinepdx

Canard

隣にある人気レストランLe Pigeonの姉妹店。フレンチにインスパイアされたカジュアルな料理。

カナール / 734 E Burnside St. / canardrestaurant.com
canard_restaurant

Gado Gado

フュージョンな東南アジア料理を、カラフルな内装の店内で。十数種類の料理が並ぶファミリースタイルもおすすめ。

ガドガド / 1801 NE Cesar E Chavez Blvd. / gadogadopdx.com
gadogadopdx

Kachka

旧ソ連時代の料理も味わえる、全米随一のロシア料理店。ペルメニ（牛肉と豚肉の焼き団子）や自家製ウォッカが人気。

カチカ / 960 SE 11th Ave. / kachkapdx.com
kachkapdx

Lovely's Fifty Fifty

他にはない、地元の草花も使った色鮮やかな野菜中心のピザと、自家製アイスクリームの両方を楽しめる街のピザレストラン。

ラブリーズ・フィフティーフィフティー / 4039 N Mississippi Ave.
lovelys5050.com sarahminnick_

República

季節の食材を使い、アメリカで他に類を見ない、メキシコの食文化や歴史的背景と結びついた料理をシェフのおまかせコースで提供。

リパブリカ / 100 NW 10th Ave. / republicahospitality.com
republicapdx

EAT Baked

毎日でも食べ飽きない、こだわりの焼き立てパンやベーグルは地元の人たちの生活の一部。みんな大好きなドーナツやパイ、グルテンフリーの人も大満足な焼き菓子も。

1927 S'mores Company

北米でキャンプの時によくつくられる伝統的なデザートのスモアを職人技で焼き上げる。定番から季節限定まで、グルメなフレーバーを山小屋のような店内で楽しめる。

1927 スモアズ・カンパニー / 1126 SW Alder St.
1927smores.com 1927smores

Gluten Free Gem

グルテンフリーのイメージが変わるような逸品。ケーキやクッキーなどの焼き菓子やデザートを店の奥の工房で毎日焼き上げている。

グルテンフリー・ジェム / 140 NE Broadway St.
glutenfreegem.com glutenfreegem

HeyDay

もち粉を使った少量生産のアジアンテイストのドーナツ。東南アジアの食材を使ったグレーズやクランブルをかけたドーナツが人気。

ヘイデイ / 3612 SE 82nd Ave. / heydaypdx.com
heydaypdx

Lauretta Jean's

手づくりのペストリーやケーキなどがショーケース一杯に並ぶ。ベリー類など地元のフルーツを使ったアメリカンなパイも人気。

ローレッタ・ジーンズ / 3402 SE Division St. / laurettajeans.com
laurettajeans

Pip's Original Doughnuts and Chai

6種類のフレーバーがある揚げたてのミニドーナツは子供から大人まで人気。アットホームな店内で自家製チャイと一緒に。

ピップス・オリジナル・ドーナツ・アンド・チャイ
4759 NE Fremont St. / pipsoriginalonline.com pipsoriginal

Spielman Bagels & Coffee

こだわりのサワードウでつくる、中はソフトで外はカリッとなベーグルが地元で愛されている。ゆったり心地いい店内で朝食やランチを。

スピルマン・ベーグルズ・アンド・コーヒー / 2111 SE Division St.
spielmanbagels.com spielmanbagels

Tabor Bread

サワードウブレッドのポートランドでのパイオニア。地元産の全粒穀物100%のパンは風味豊か。ペストリーやサンドイッチも並ぶ。

テイバー・ブレッド / 4438 SE Belmont St. / taborbread.com
taborbread

EAT Others

地元の新鮮な食材が並ぶファーマーズマーケットやグローサリーストアは、ポートランドの食文化を直に感じられる場所。職人的な味をポップに楽しめるアイスやチョコのお店も。

Portland Farmers Market at PSU

土曜日にブランチがてら向かいたい、市内で最大規模のファーマーズマーケット。ポートランド州立大学のキャンパス内で開催。地元の野菜や果物はもちろん、生鮮食品や加工品も。

ポートランド・ファーマーズマーケット / 1803 SW Park Ave.
portlandfarmersmarket.org portlandfarmers

The Meadow

世界各地の産地や職人のこだわりがつまった塩とチョコレート、ビターズ（ハーブなどを漬け込んだリキュール）が豊富に並ぶ。

ザ・メドゥ / 3731 N Mississippi Ave. / themeadow.com
atthemeadow

Salt & Straw Ice Cream

果物など地元の素材を使った少量生産のアイスクリームが幅広い層に人気。期間限定のユニークなフレーバーも要チェック。

ソルト・アンド・ストロー・アイスクリーム / 2035 NE Alberta St.
saltandstraw.com saltandstraw

Portland Mercado

中南米のフードカートや食材などの店が並ぶマーケット。食やアートなどを通じて中南米の文化を感じられるハブになっている。

ポートランド・メルカード / 7238 SE Foster Rd.
portlandmercado.org portlandmercado

Woodblock Chocolate

2010年に夫婦で始めたクラフトチョコレート。工房の様子を眺めながら、併設のカフェでチョコレードリンクなどを楽しめる。

ウッドブロック・チョコレート / 1715 NE 17th Ave.
woodblockchocolate.com woodblockchocolate

The Side Yard Farm & Kitchen

住宅街にあるアーバンファーム。"Seed to Plate"をテーマにしたブランチやディナーイベント、ワークショップなども開催。

ザ・サイドヤード・ファーム・アンド・キッチン
4800 NE Simpson St. / thesideyardpdx.com thesideyardfarm

People's Food Co-op

メンバーオーナー制で運営されているグローサリーストア。新鮮でサステナブルな野菜や果物、加工品、日用品などが揃う。

ピープルズ・フード・コープ / 3029 SE 21st Ave. / peoples.coop
peoplesfoodcoop

Ian Williams

Owner
Deadstock Coffee

自分の得意なものを発見して根気よくがんばる人が多い街

Deadstock Coffee
デッドストック・コーヒー
408 NW Couch St.
deadstockcoffee.com
deadstockcoffee

スニーカーをテーマにしたコーヒーショップ、Deadstock Coffeeは、2016年にポートランドのオールドタウン・チャイナタウンでオープンしました。人と集まってスニーカーの話をしたりしながら、それがお金をもらえる仕事になれば、と考えていた時に、カフェは人々が集まって話をしたり、たむろしたりする中間地点のようなものだと気づいたのが、コーヒーの世界に入るきっかけでした。コーヒーにハマってからは、コーヒーをつくる工程が楽しくなりましたね。お店ではもちろんコーヒーの話もできるんですけど、つい、いつの間にかスニーカーの話に切り替わったりしちゃいますね。

コロナ禍の間も、店はかなりうまくいっていました。うちは小さなカフェなので、もともとテイクアウトを組み込んだビジネスモデルになっていましたしね。その頃に、人気のあるアイスドリンクを1.5リットルのグラウラー（ビールを持ち運べる水筒）に入れるサービスも始めました。お店の業績は2020、21年がオープン以来、最高の年でした。理由としては、ブランドやビジネスがコミュニティとつながっていれば、コロナ禍のような時にもコミュニティの人たちが「大丈夫？」と気にかけてくれるからだと思うんです。それと同時に、人を介して1杯のコーヒーを味わうような、ちょっとしたシンプルな瞬間を、人々は必要としているんだということも感じました。

ポートランドがどんな街かというと、はみ出し者の街だと思います。自分の道を見つけようとしている人たちがたくさんいます。自分が得意なのはこれだ、というものを発見して、根気よくがんばっている人たちが多いんです。そしてここでは、そういうことをやっていても、誰にもとやかく言われない気がします。

例えばカフェでも、ミルクの泡にはメチャクチャこだわってる！というような何かに対する愛があって、焙煎の仕方やコーヒーの準備の仕方とか、ちょっとばかばかしいくらい超オタクになることが受け入れられています。そんな感じなので、ポートランドのカフェシーンはとても変わっていると思います。

ポートランドは今も
すごくポートランドらしいまま

あなたがすでにポートランドのことを知っていて、愛着を感じているならば、それは今もすべてここにあります。ポートランドはすごくポートランドらしいままなんです。 以前にも増して多くの人がクリエイティブなことをするようになっていますし、ショップも増えていて、より多くの機会があります。

Deadstock Coffeeではイベントやポップアップも行なっていますが、それは個人的に何かやりたいという気持ちがあるのと、私たちは人々が一緒にいることのエネルギーを楽しんでいるからです。特に、普段は集まらないような人たちが一緒になるのは楽しいですね。毎週火曜日にはグループで走るランクラブも行なっています。それぞれの人が自分のペースで参加できるように、ウォーキングのグループもあって、距離も短めから長めまであります。みんなで集まって一緒にやることが大事なんですよね。

オクラホマ、テキサス、アリゾナ、カリフォルニアなど全米各地でのイベントに出店したり、コロナ禍の前は東京でもコーヒーフェスティバルに参加したこともありますが、イベントを行う大きなモチベーションとしては、自分たちのブランドの認知向上というだけでなく、人々の背中を押すためにも重要なことだと思っています。

今後の希望としては、ずっと思っていることなんですが、日本で2号店をオープンできたらいいですね！

イアン・ウィリアムズ

バージニア州出身。ナイキでフットウェア・ディベロッパーを務めた後、2016年にポートランドでスニーカーがテーマのコーヒーショップ、Deadstock Coffeeをオープン。コーヒー好きな人やスニーカー好きな人をはじめ、誰でも気軽に立ち寄れるコミュニティのハブのような店を目指している。

Ben Parsons

Co-Founder
Baerlic Brewing

人と人とのつながりが目的で ビールはいわば、つなぎ役

Baerlic Brewing
ベアリック・ブルーイング
2239 SE 11th Ave.
baerlicbrewing.com
baerlicbrewing

共同創業者のリチャード・ホールとは25年来の友人で、趣味として自家醸造を一緒にしていたのが私たちのビールづくりの始まりでした。2014年にブルワリーをオープンして、そこからずっと少しずつ、有機的かつ計画的に成長してきています。現在は私は醸造はしておらず、物流を含めたブルワリーの運営をしています。

もともと、うちはほとんど生ビールがメインでしたが、コロナ禍になってからはタップルームを営業できなくなったので、缶ビールの製造に注力していました。ちょうど2019年末に缶詰の製造ラインを購入していたんです。そして、ポートランド中を車で走り回ってビールを配達していました。デリバリーができなければ、ビジネスはどうなっていたかわかりません。本当にチャレンジングで不確実な時期でした。

私のバックグラウンドはグラフィックデザインで、2020～21年にかけては、85種類以上のビール缶のデザインをしました。それまでにやったことのないような数だったので、しばらくは燃え尽きたような状態でした。私たち2人はもともとブルワリーで働いたことがなかったので、立ち上げの際にはいろいろと自分たちで考えて解決しなければいけませんでした。その時の経験があったからこそ、コロナ禍も乗り切ることができたのだと思います。

ビールの種類については、私たちは特定のスタイルにフォーカスしているわけではありません。お店にやってくる人たちが自分にぴったりなビールを見つけられるように、ウエストコーストIPAのようなものから、軽くて繊細なセゾン、まろやかなラガーなど幅広い種類のビールを揃えています。年間約120種類のビールを少量ずつリリースしていますが、タンクをいくつか増やしたので、さらにいろいろなものをつくるつもりです。

タップルームやパブレストランが併設されたポートランドのブルワリーでは、自宅や学校、職場とは別のサードプレイスや共同スペースとしての役割が期待されています。人と人とのつながりが目的で、ビールはいわば、つなぎ役です。私たちのタップルームを訪れるお客さんに、何よりもまず感じてもらいたいことは快適さです。ビールのエキスパートでないと入れないような高尚な場所ではなく、心をオープンにしてビールを体験できる場所でありたいと考えています。店内を見渡したり歩いて、心地よいスポットを見つけて、一緒にいる人と素晴らしい体験をしてほしいですね。

ブルワリー同士、仲間意識が強く 共同体的な側面がある

ポートランドにはブルワリーがたくさんあり、みんなとてもフレンドリーです。仕事終わりにビールを飲んでいると、あちこちのブルワリーのブルワーに出くわし、ホップのことやお互いがつくっているビールのことなどについて話します。ここでは秘密がないようなもので、そこが好きなところです。仲間意識が強く、共同体的な側面のあるオープンな環境で常に学んでいるので、飛躍的な創造性も生まれます。好奇心を持ち、秘密主義にならなければ、みんなが向上できて、ポートランド全体のビールをよりよいものにしていくことができています。

クリエイティブな仕事のカルチャーがあるポートランドでは、ビール以外にも例えば家具をつくりたい、料理をつくりたい、といった人たちがたくさんいます。彼らはただそれらに没頭して、世の中でどう存在させていくかを考えることができます。本当にオープンな雰囲気で、ジャッジする人がいないのが、私がポートランドを好きなところです。自分がやりたいと思ったことは何でもできる。そのことが人々をここに惹きつけていると思います。

ベン・パーソンズ

アイダホ州出身。2004年からポートランド在住。同郷の高校時代の友人リチャード・ホールと一緒に、趣味でビールの自家醸造を始め、2014年にBaerlic Brewingをオープン。前職はグラフィックデザイナーで、Baerlic Brewingでもビール缶のラベルなどをデザインすることがある。Baerlic Brewingは現在、ポートランドに3店舗を構えている。

DRINK Coffee

世界でも有数のコーヒータウンであるポートランド。それぞれのネイバーフッドにいろいろなスタイルのショップがあるので、お気に入りのカフェがいくつも見つかるはず。

Coava Coffee Roasters

竹製品の会社のショールームとスペースをシェアしているフラッグシップの1号店。広々としたインダストリアルな空間で、味の複雑さやバランスを感じられる1杯を。

コアヴァ・コーヒー・ロースターズ / 1300 SE Grand Ave. (A)
coavacoffee.com coavacoffee

Buckman Coffee Factory

シェアの焙煎所として、ポートランドで焙煎のすそ野を広げている。コーヒーについて学べるプログラムやイベントも開催。

バックマン・コーヒー・ファクトリー / 1105 SE Main St.
buckmancoffee.com buckmancoffeefactory

Courier Coffee Roasters

レコードを聴きながら自家焙煎のコーヒーを。毎朝焼きたてのカヌレなども人気。曜日によってSoenの甘味や夏季はかき氷も提供。

クーリエ・コーヒー・ロースターズ / 923 SW Oak St.
couriercoffeeroasters

Electrica

メキシコのコーヒーと日本の高品質なお茶を提供。シグネチャーは自家製の味噌キャラメルを使ったエスプレッソの西京ラテ。

エレクトリカ / 2181 NW Nicolai St.
electricapdx

Extracto Coffee Roasters

Northeastのアットホームな雰囲気のカフェ。店の奥で少量ずつ焙煎された幅広いセレクションのコーヒーをゆっくり味わえる。

エクストラクト・コーヒー・ロースターズ / 2921 NE Killingsworth St.
extractocoffee.com extractocoffee

See See Motor Coffee

バイクギア＆アパレルショップのカフェ。店内に並ぶバイクや壁一面のヘルメットから、バイク愛とアートの融合を感じられる。

シーシー・モーター・コーヒー / 1642 NE Sandy Blvd.
seeseemotorcycles.com seeseemotorcoffee

Stumptown Coffee Roasters

ポートランドのコーヒーカルチャーの先駆者でAce Hotelや空港にも店舗があるが、1号店ではよりローカルな気分を味わえる。

スタンプタウン・コーヒー・ロースターズ / 4525 SE Division St.
stumptowncoffee.com stumptowncoffee

DRINK Tea, Juice, Kombucha, Mocktail

伝統的なもの、モダンなブレンド、カジュアルなスタイルなど高品質なお茶の飲み比べを。フレッシュなジュースや、ヘルシーなコンブチャ、モクテルも気分に合わせて楽しめる。

Smith Teamaker

創業者は「ブレンドの魔術師」と讃えられたスミス氏。品質にこだわった茶葉やボタニカルを使って、ハンドクラフトで少量生産しているお茶をテイスティングルームで味わえる。

スミス・ティーメーカー / 110 SE Washington St. / smithtea.com
smithteamaker

Either/Or

コーヒーとサンドイッチ、ブリトーなどブランチメニューのほか、モクテル（ノンアルコールのカクテル）も充実しているカフェ。

イーザー／オア / 4003 N Williams Ave. / eitherorpdx.com
eitherorcafe

Moberi

注文を受けてからつくる、地元産の素材を使ったヘルシーで元気になるスムージー。ブラジルの伝統的なアサイー・ボウルも人気。

モベリ / 1755 NW 23rd Ave. / moberi.com
moberi

SOMA Kombucha

毎週フレーバーが変わるフレッシュなコンブチャ（酵母菌にお茶などを加えて発酵させたドリンク）をタップから注いで味わえる。

ソーマ・コンブチャ / 3777 SE Belmont St. / somakombucha.com
somakombucha

Sousòl

Kann（p.6-7）の地下にあるバー。カリブ海地域の料理と革新的なモクテルで、お酒を飲めない人もバー体験を楽しめる。

ソウソル / 227 SE 6th Ave. / sousolbar.com
sousolbar

The Tao of Tea

お茶が文化をつなぐ芸術であることを大切にしている。アジアや世界各地から伝統的な手法による特別な味わいの茶葉を提供。

ザ・タオ・オブ・ティー / 3430 SE Belmont St. / taooftea.com
taooftea

Tea Bar

高品質な茶葉を使ったドリンクをカジュアルに楽しむことができる。様々なフレーバーのタピオカティーやミルクティーが人気。

ティー・バー / 1055 NW Northrup St. / iloveyousomatcha.com
teabar

DRINK Beer

ポートランドは、世界で最もブルワリーが多い都市のひとつ。クラシックな有名ブルワリーから革新的な新顔まで、美味しいビールを囲んで人々が集い、語らっている。

Breakside Brewery

様々なスタイルのビールをリリースし、数々の受賞歴を誇る。この店舗は2階建てで屋外スペースも広く、フードも充実。従業員がオーナーの全米でも珍しいブルワリー。

ブレイクサイド・ブルワリー / 1570 NW 22nd Ave.
breakside.com breaksidebrews

Culmination Brewing

バランスがよくて爽快なPHAEDRUS IPAが看板商品。スモークBBQ肉のハンバーガーなどのフードもビールとよく合う。

カルミネーション・ブルーイング / 2117 NE Oregon St.
culminationbrewing.com culminationbrewing

Gigantic Brewing

定番のIPAは柑橘系の香りが特徴。ビールのラベルはアーティストとコラボしている。2022年に中庭もある3店舗目をオープン。

ジャイガンティック・ブルーイング / 4343 SE Hawthorne Blvd.
giganticbrewing.com giganticbrewing

Living Häus Beer Co

経験豊富なブルワーたちが2022年にオープン。原料やスタイルを探求し、ラガーを中心に好奇心をそそるビールをつくっている。

リビングハウス・ビアー・カンパニー / 628 SE Belmont St.
livinghausbeer.com livinghausbeer

Loyal Legion Beer Hall

オレゴン州のクラフトビールの伝統を讃えるビアホール。99のタップを備え、州内でも最高のビールのセレクションを誇る。

ロイヤル・リージョン・ビアホール / 710 SE 6th Ave.
loyallegionbeerhall.com loyallegionoregon

Steeplejack Brewing

1900年代初期の教会を修復してブルワリーパブに。ビールを手に人々が集い、つながる場所をつくることを大事にしている。

スティープルジャック・ブルーイング / 2400 NE Broadway
steeplejackbeer.com steeplejackbeer

Von Ebert

ダウンタウンの近くにある席数の多いブルワリーパブ。伝統と革新が融合したビールを、ピザなどのフードと一緒に楽しめる。

ヴォン・エバート / 131 NW 13th Ave. / vonebertbrewing.com
vebrewing

DRINK Wine, Whiskey, Spirits, Cider, Cocktail

ワインやウイスキー、蒸留酒にサイダー、カクテルと各種お酒のお店やつくり手も多様性があって、個性が際立っている。新しいお酒との出会いも楽しめるはず。

Multnomah Whiskey Library

世界中から時を経て集まった2000本以上のボトルが天井まで並ぶ空間は圧巻の一言。予約できるのは会員のみだが、1階のバー Green Rooomで飲みながら待つこともできる。

マルトノマ・ウイスキー・ライブラリー / 1124 SW Alder St.
mwlpdx.com / multnomahwhiskeylibrary

Abbey Creek Winery: The Crick PDX

オレゴン州初の黒人ワイン生産者。ヒップホップが流れる中でゆったりとワインを楽しめる、一味違うテイスティングルーム。

アビー・クリーク・ワイナリー：ザ・クリック PDX
912 SW Morrison St./ abbeycreekvineyard.com abbeycreekwine

Nil.

ナチュラルワインのボトルショップArdorの隣にあるワインバー。ハウスやレアグルーブなどのDJによるイベントも開催している。

ニル / 4243 SE Belmont St. #300 / nilwinebar.com
nil.winebar

Coopers Hall

サステナビリティを重要視しているアーバンワイナリー。元は自動車整備工場だった広々とした空間にタップルームを備える。

クーパーズ・ホール / 404 SE 6th Ave. / coopershall.com
coopershallpdx

Expatriate

オーナーバーテンダー Kyle Websterの生み出すカクテルを、アジアテイストのナチョスなどのフードとともにムーディーな空間で。

エクスパトリエイト / 5424 NE 30th Ave. / expatriatepdx.com
expatriatepdx

Freeland Spirits

オーナーをはじめ、女性のみの蒸留家、スタッフで運営している蒸留所。テイスティングルームではカクテルやスナックを提供。

フリーランド・スピリッツ / 2671 NW Vaughn St.
freelandspirits.com freelandspirits

The Place

地元産から海外のものまでセレクトされたハードサイダー（りんごのお酒）を、植物で飾られたリラックスできる空間で。

ザ・プレイス / 1212-D SE Powell Blvd. / theplacepdx.com
the_place_pdx

Bijan Berahimi

Creative Director / Founder
FISK

ポートランドへやってきたのは多くの可能性があると思ったから

FISK
フィスク
3613 NE MLK Jr. Blvd.
fiskprojects.com
fiskprojects
fiskgallery

ロサンゼルスの郊外で育ち、10年前にポートランドに引っ越して、ナイキでグラフィックデザイナーとしてのキャリアをスタートさせました。2014年からはデザインスタジオであり、ギャラリー、ストアでもあるFISKを立ち上げて運営しています。

カリフォルニア芸術大学を卒業してポートランドへやってきたのは、都市としては若く、多くの可能性がある場所だと思ったからです。ニューヨークやロサンゼルスにあって、ポートランドに存在しないものは今もたくさんあります。例えばお店やスタジオをオープンしたいと思った時に、競争相手が多くないので、そのことは後押しになる気がします。

ギャラリーをいったん閉めようと考えていた時にちょうどコロナ禍が重なり、2年間の休止を経て2022年7月末に再オープンしました。移行期間にもオンラインストアは続けていたので、より多くのプロダクトをつくるようになりました。新しいスペースではよりハイブリッドにショップとして運営し、ギャラリーはその二次的な要素という感じです。世界中からキュレーションした物や雑誌も販売しています。プロフェッショナルとしての仕事以外でのこうしたプロジェクトは、クリエイティブな人間としての自分を表している気がします。

以前のギャラリーはアーティストの展示によって変わる白い壁のボックスでしたが、今は足を踏み入れた時に常設展示のような驚きがある空間をつくりたいと思っています。家具もより大胆にデザインしました。植物や香りがあって、コーヒーや生ビールも飲めたりするような、長く続けていける多面的な場所にしようと考えています。デザイン、アート、空間の共存の仕方に、私たちの関心がより表れたスペースになったと思います。

地元レストランとの仕事は相互的な関係でともに成長

グラフィックデザインの仕事ではヨーロッパやアジアの会社とも仕事をしていますが、地元の企業と仕事をしたのは2017年、西アフリカ料理レストランのAkadiが初めてでした。彼らのレストランが私たちのスタジオのすぐ近くにあったので、フードと引き換えにグラフィックデザインを必要としているか尋ねたんです。

そこから付き合いが始まりました。お互いにサポートしたいという、とても相互的な関係で、2人とも中小企業経営者のようなものなので、コロナ禍の時もビジネスの運営についてなど、いろいろと話をしました。クライアントとの関係が近ければ近いほど、より健全な関係になれると思うんです。ともに成長し、過去の出来事から学んでいるのを見るのは本当に素晴らしいことです。彼らも私たちも移転しましたが、またご近所になっています。

デザインに興味のある人へ、ポートランドでのおすすめの一つは、ヴィルヘルム霊廟（Wilhelm's Mausoleum）です。アメリカ西部で最大の葬儀場で、5月の最終月曜日、メモリアルデー（戦没将兵追悼記念日）の時だけ一般公開されます。1800年代後半のスタイルのタイポグラフィや素材、ステンドグラスが使われていたり、目を見張るものが多い稀有な空間です。

もう一つのおすすめは、ポートランドから車で20分ほど南に行ったオレゴンシティにある市営エレベーターです。1955年に、崖の上に住む人たちの通勤のためにつくられたアール・デコ調の美しいエレベーターで、機能的なところに惹かれるんですよね。オレゴンシティは今とても発展していて、クールなレストランやブルワリーもありますが、私はこのエレベーターに行くのが大好きなんです。

ビジャン・ベラヒミ

カリフォルニア州出身。イラン系アメリカ人のグラフィックデザイナーで、スタジオ＆ギャラリー FISKの創設者。FISKは、ビジャンがカリフォルニア芸術大学で学んでいた時に、共同での学生プロジェクトとして2009年にスタート。以来、アートとデザインというレンズをとおして文化、コミュニティ、商業に焦点を当てた継続的なプロジェクトとなっている。これまでにNike、Toro y Moi、Alicia Keys、Boiler Roomなどと仕事をしてきている。2020年には、ポートランドの現代アートやカルチャーシーンを捉えた雑誌『JOON』を創刊。

GET INSPIRED

カフェやホテルでの展示や、街なかの外壁に描かれたアートなどが、日常的な街の景色を彩っている。ミュージアムやギャラリー、イベントなどもアートと人々を積極的につなぐ。

Portland Japanese Garden

ワシントンパーク内の高台に位置し、「日本国外で、最も本格的な日本庭園」と評される。2017年に隈研吾氏の設計による建物が加わり、拡張プロジェクトが完成。

ポートランド日本庭園 / 611 SW Kingston Ave.
japanesegarden.org　portlandjapanesegarden

Cinema 21

90年以上の間、街の映画文化の拠点となっている映画館。インディペンデント映画やドキュメンタリー、クラシック映画などを上映。

シネマ21 / 616 NW 21st Ave. / cinema21.com
cinema21_portland

First Thursday

4～10月の毎月第1木曜、パールディストリクトの一角が、地元アーティストたちの作品が並ぶストリートギャラリーとなる。

ファースト・サーズデー / NW 13th Ave. & NW Irving St.
urbanartnetwork.org　urbanartnetwork

Nationale

地元をはじめ全米の新進アーティストをサポートし、絵画やクラフト作品などの展示を行なっているギャラリー&ブックショップ。

ナショナーレ / 15 SE 22nd Ave. / nationale.us
nationale

Oregon Contemporary

あらゆる形態のアートを展示やイベントで紹介し、コミュニティとアートをつなぐ。2021年にDisjectaから現在の名称に変更。

オレゴン・コンテンポラリー / 8371 N Interstate Ave.
oregoncontemporary.org　oregoncontemporary

PICA（Portland Institute for Contemporary Art）

パフォーミングアートの祭典、Time Based Art Festival を毎年開催するなど、アーティストと観客の創造的な探求や交流を促進。

ポートランド・インスティテュート・フォー・コンテンポラリー・アート
15 NE Hancock St. / pica.org　picapdx

Portland Art Museum

1892年創立の美術館。版画や絵画、写真、アジア美術のほか、アメリカ先住民の工芸品を数多く所蔵することでも有名。

ポートランド・アート・ミュージアム / 1219 SW Park Ave.
portlandartmuseum.org　portlandartmuseum

MAKE

つくり手の街であるここでは、地元のメイカーたちによる様々な商品を手に取れるショップがあるほか、自ら手を動かし、ものやアートをつくれる場所がある。

Art Design Xchange（ADX）

木工や金属加工の工房、アートスタジオなどを備えた会員制のメイカースペース。クリエイターたちがつながって協力しながら、創造するためのハブ。工房ツアーやワークショップも実施。

アート・デザイン・エクスチェンジ / 417 SE 11th Ave.
artdesignxchange.com　adxportland

DIY Bar

15種類以上あるDIYクラフトのための材料とツール、マニュアルが揃い、手を動かしてものをつくる楽しさを感じられるバー。

DIYバー / 3522 N Vancouver Ave. / diybar.co
diybar

The Good Mod

広々としたフロアに、国内外から買い付けたヴィンテージ家具が優雅に並ぶ。工房ではオリジナル家具の製作も行っている。

ザ・グッド・モッド / 1313 W Burnside St., 4th Floor
thegoodmod.com　thegoodmod

Madehere

アパレルや雑貨からフード、ドリンクまで、ポートランド周辺でつくられた高品質でデザイン性の高い商品が揃い、お土産探しにも◎。

メイドヒア / 40 NW 10th Ave.
madehereonline.com　madeherepnw

Orox Leather

祖父母の代からのハンドクラフトの伝統を受け継ぐ家族経営の革製品ブランド。店の奥の工房で職人たちがていねいにつくり上げる。

オロックス・レザー / 450 NW Couch St.
oroxleather.com　oroxleatherco

Outlet

リソグラフの印刷スタジオで、ワークショップも開催。地元アーティストによるプリントやカードも販売している。要アポイント。

アウトレット / 2500 NE Sandy Blvd., Ste E
outletpdx.com　outletpdx

ReBuilding Center

住宅の取り壊しや改装などで出た古材を販売するNPO。様々な資材や小物などが大量に並び、DIY好きにはたまらない空間。

リビルディング・センター / 3625 N Mississippi Ave.
rebuildingcenter.org　rebuildingcenter

Eloise Augustyn

Owner
Sweedeedee

コミュニティのためになるような近所のスポットをつくりたかった

Sweedeedee
スウィーディーディー
5202 N Albina Ave.
sweedeedee.com
sweedeedeepdx

2012年にこのカフェ、Sweedeedeeを開いたのは私が25年間、飲食業界で働いてきて、地域経済や農家といったコミュニティのためになるような、近所のスポットをつくりたかったからです。

Mississippi Recordsのエリック（p.30-31）がこの場所に移転する際に、隣でカフェをオープンしないかと話を持ちかけてくれました。遠い夢のように思えていたことが、それで拍車がかかって実現しました。私は地元の出身ですが、ポートランドの人たちは、地域経済の中で働くことにとても熱心だと思います。

コロナ禍の間は、いったんお店を閉めて休止期間を設けました。無理に物事を進めず、自分たちのチームやカフェに来る人たちにとって意味のあることをするために、時間をかけて考えたことは私たちにとって本当に素晴らしいことでした。コロナ禍以前のように、日々のオペレーションがあって、物事の動きが速い時に変化を起こすのは難しいですからね。

以前は毎日朝8時から15時までの営業でしたが、今は週3日（木曜、金曜、土曜）は朝食、ランチ、ディナーと通しで営業していて、これまでとは違う食の体験になっています。特に、これまでやっていなかったディナーの提供は、私たちにとってエキサイティングなことです。

メニューについては、フレッシュな地元の農家の野菜にフォーカスし、季節感があってコンフォートな食事という従来の枠組みは維持しつつ、一新しました。10年来の友人であるシェフのサム・スミスが加わってくれて（2022年12月まで在籍）、これからカフェをどう前進させていきたいか、時間をかけて一緒に考えました。かつての定番を懐かしむ人もいたかと思いますが、サムが生み出した新メニューは素晴らしい出来栄えになったので、お客さんたちはすぐに馴染んでくれました。

また、キッチンで使っているすべての食材を扱う小さなマーケットを併設し、地元の食材や特別に調達した食料品、そしてナチュラルワインの小さなセレクションを揃えています。

誰でも気軽に入れる空間でありたい

そして、今すぐできることだけではなく、もう少し長い目で見たことも重視しています。近隣の人たちのためにポップアップを行ったり、クリエイティブな新しいアイデアにワクワクしながら取り組んでいるけれど場所を持っていない人たちが、コミュニティ・スペースとして利用できるようにもしていきたい、とトライしているところです。

Sweedeedeeが日本から来る方たちにも支持されていることは本当に感動しましたし、光栄です。私にとっては自分のリビングルームのようなものなので、その理由を特定するのは難しいのですが、この小さなスポットを続けていくために、私たちはチームとしてまとまって、多くのことに気を配っています。私は細かいディテールが大好きなんです。そして、誰でも気軽に入れるような空間でありたいと常々思っています。ここに来る方たちに、それを体験してもらえたらうれしいですね。

エロイーズ・オーガスティン

ポートランド出身。飲食業界で25年間働いた後、2012年にカフェレストランSweedeedeeをオープン。アットホームで居心地のいい空間で、フレッシュな季節の食材を活かした健康的な食事を提供。コロナ禍の休止期間を経た再オープン後は、セレクトした食料品やワインを販売するコーナーも設けている。店内で流れる音楽は、隣のMississippi Recordsで調達したレコードによるもの。

Eric Isaacson

Owner
Mississippi Records

オールド・ポートランドの精神は今もこの街に残っている

Mississippi Records
ミシシッピ・レコーズ
5202 N Albina Ave.
mississippirecords.net

20年ほど前からMississippi Recordsを経営しています。Mississippi Ave. からスタートして、約10年前に今の場所に移転しました。店を始めたきっかけは家賃が安くて場所のいい物件にたまたま出会って、大家さんも後押ししてくれたからです。一度も自営業になろうとは思ってなかったし、野望もなかったんですけどね。

開店当初は持っていたすべてのレコードや本を店頭に並べて、時間をかけて売りました。ビジネスプランもなければ、うまくいくかどうかもわからない状況でした。でも、ポートランドの魔法のようなもので、それがうまくいったという感じです。そして20年後、なぜか私たちはまだここにいるんです。

1990年代にポートランドに来た時、何かに夢中になっているスモールビジネスがたくさんあって、オーナーはみんなクレイジーな人たちばかりでした。ビジネスタイプの人たちと言うより、ビジョンを持ったアーティストタイプでしたね。考えてみると、それこそ私にとってオールド・ポートランドの精神なのだと思います。自分もささやかながらその一部になりたいと思ったのです。そうしたスピリットは今もこの街に残っています。私のような上の世代の人の多くは、今は価格が上がって昔みたいなことはできないよ、と言うでしょう。でも、人は道を切り開くものです。

ポートランドには38軒のレコード店があって、人口あたりの数は全米で一番多いんです。都市の規模からすれば、普通は考えられないことですよね。そのほとんどの店では、店主もカウンターで働いています。儲からないけどここでやっていこうという感じで、これはライフスタイルの選択なんです。この街はそういうことがまだまだできる街です。

コロナ禍になるまで、この店の特徴の一つはクレジットカードを使えないことで、カウンターにあったのはノートと電卓。ウェブサイトもオンラインストアもありませんでした。17年間、クリスマス以外は毎日営業していたのですが、突然パンデミックによって休業することになりました。すぐに店を畳むか、それともインターネットに適応するか、決断を迫られましたが、コンピューターに詳しい友人の助けで急きょウェブサイトを立ち上げて乗り切れたのですから、ありがたいことです。

この店は物理的な空間であることが大事

通常営業を再開してからは、店で人と普通におしゃべりするような、以前は当たり前に思っていたこともとてもありがたいです。なぜなら、私たちはこの店が物理的な空間であることを大切にしてきました。それを奪われた上に、コミュニティのハブとしてではなく、単に商業の場として扱われるなんて、この上なくやるせないことです。

今後もできるだけ長く、誠実にお店を維持していくために一番ネックになるのは、レコードの値段がすごく高くなってきていることです。私がレコードに夢中になった理由は当時、音楽を入手する最も安い方法だったからです。2003年に店をオープンした後、その流れがすぐに反転して、レコードは音楽を手に入れるのに最も高価な方法になってしまいました。少なくとも私の店では昔ながらのレコード屋として、普通の人たちが買えるような手頃な価格のレコードを維持できるようにしていきたいです。今のところ、それが私の中で一番の関心事です。

エリック・アイザックソン

カリフォルニア州出身。2003年にMississippi Recordsをオープン。レコードレーベルとしても運営していて、見過ごされがちなワールドミュージックなどのレコードの再発売やミックステープをリリース。店が掲げるモットーは"LOVE OVER GOLD"。

LISTEN

ポートランドのカルチャーと音楽は切っても切り離せない。好みや探しているものを伝えれば、おすすめのレコードやライブ、ベニューを教えてくれるフレンドリーなお店の人も多い。

Mississippi Studios

程よいサイズ感でミュージックラバーに愛されているライブハウス。天井が高く音の鳴りに定評がある。バー・レストランも併設。

ミシシッピ・スタジオズ / 3939 N Mississippi Ave.
mississippistudios.com mississippistudios

Doug Fir Lounge

Jupiter Hotelの地下にあるライブハウス。どの位置からでもミュージシャンを身近に感じられる。2023年後半以降に移転予定。

ダグ・ファー・ラウンジ / 830 E Burnside St.
dougfirlounge.com dougfirlounge

Little Axe Records

ワールドミュージックなどのユニークなセレクトで人気。レーベルとしてレコードの再発やミックステープもリリースしている。

リトル・アックス・レコーズ / 4142 NE Sandy Blvd.
littleaxerecords.com littleaxerecords

Music Millennium

50年以上に渡り、地元の音楽好きに親しまれているレコードストア。新作と中古レコード、CDなど幅広いジャンルの品揃え。

ミュージック・ミレニアム / 3158 E Burnside St.
musicmillennium.com musicmillennium

Tender Loving Empire

運営するレーベルに所属する地元ミュージシャンのレコードのほか、ローカルアーティストによるクラフト作品や雑貨なども販売。

テンダー・ラビング・エンパイア / 412 SW 10th Ave.
tenderlovingempire.com tenderlovingempire

Turn! Turn! Turn!

キャパシティは80人ほどで、ポートランドらしさが際立ったベニュー。ライブのほか、コミュニティイベントも開催している。

ターン!ターン!ターン! / 8 NE Killingsworth St.
turnturnturnpdx.com turnturnturnpdx

Pickathon

毎年夏に農場の自然の中で開催される、サステナビリティに配慮した体験型音楽フェス。親子連れでも楽しめ、フードも充実。

ピカソン / Pendarvis Farm (16581 SE Hagen Rd., Happy Valley)
pickathon.com pickathon

RUN

自転車はもちろん、ハイキングやクライミングにキャンプ、スキーも1年中、オレゴンコーストへ行けばサーフィンもと、あらゆるアウトドア・アクティビティを楽しめる。

Forest Park

都市にある森林公園としてはアメリカで最大で、ダウンタウンからも気軽にアクセスできる。Lower Macleay Parkからピトック邸の間の8kmの往復コースはハイキングに人気。

フォレスト・パーク / 4099 NW Thurman St.
forestparkconservancy.org forestparkconservancypdx

The Circuit Bouldering Gym

大小様々な形のウォールが用意され、あらゆるレベルのクライマーが楽しめる、コミュニティのようなスペース。

ザ・サーキット・ボルダリングジム / 410 NE 17th Ave.
thecircuitgym.com thecircuitgym

Community Cycling Center

地域のあらゆる人たちが自転車を活用できるようサービスを提供する非営利団体。中古の自転車とパーツも手頃な価格で販売。

コミュニティ・サイクリングセンター / 1700 NE Alberta St.
communitycyclingcenter.org communitycyclingcenter

Next Adventure

新品のアウトドア用品やウェアはもちろん、地下は中古品を販売するフロアになっていて、アウトドアをより身近なものにしている。

ネクスト・アドベンチャー / 426 SE Grand Ave.
nextadventure.net / nextadventure

Portland Trail Blazers

地元ファンに愛されているNBAチーム。プレーするModa Centerは、ダウンタウンからウィラメット川を渡ってすぐ。

ポートランド・トレイルブレイザーズ
Moda Center (1 N Center Ct St.) / nba.com/blazers trailblazers

The Sports Bra

女性スポーツの放映と美味しい食事やドリンクを通じて、スポーツやコミュニティで活躍する女性を後押しするスポーツバー。

ザ・スポーツ・ブラ / 2512 NE Broadway
thesportsbrapdx.com thesportsbrapdx

Up North Surf Club

サーフボードやギア、アパレルを販売するほか、店内のバーでリラックスしてビールも楽しめるフレンドリーなサーフショップ。

アップノース・サーフクラブ / 1229 N Killingsworth St.
upnorthsurfclub.com upnorthsurfclub

Meghan Sinnott

自転車カルチャーの新たなムーブメント

Organizer
Pedalpalooza

Pedalpalooza
ペダルパルーザ
pedalpalooza.org
pedalpaloozapdx

2002年に始まったPedalpaloozaでは夏の間、街中でコミュニティ主導の自転車ライドが開催されます。各ライドはコミュニティメンバーのボランティアによって企画、運営され、何千人という人たちが参加しています。

ポートランドは「自転車フレンドリーな街」として世界中に知られるようになりましたが、大きな入れ替わりと変化の時を迎えたように思います。かつてこのカルチャーの土台をつくった人の多くは結婚したり、子供ができたり、フルタイムの仕事に就いたり、住居費がより安い郊外に移ったりとライフスタイルが変化し、以前のようには自転車に乗れなくなっていました。

特にパンデミックの影響は大きく、私もそうですが、みんなの情熱は燃え尽きてしまったんです。その間にもポーランドの自転車カルチャーの評判に期待して、たくさんの移住者がやってきた訳ですが、実際に住んでみたら自転車専用レーンのペイントは消えかけているし、自転車イベントの予定もないような状態になっていました。

そんな中、新たに街にやってきた熱意ある人たちによって、Pedalpaloozaに新しいムーブメントが起こっているんです。「このイベントはもっとよくできると思う」、「カーゴバイク（大きな荷物や子供を乗せられる自転車）に乗るママになるから、サポートがほしい」、「白人や男性ばかりに偏らず、有色人種の女性の組織もつくるべきだ」などの声が上がっていて、自転車界隈にちょっとしたルネッサンスの訪れさえ感じています。

Pedalpaloozaはコロナ禍の間も休止はしませんでした。2020年はオンラインでその日のテーマを告知して、参加者には個々で走行してもらい、腰回りにチュチュ（スカート状のバレエ衣装）をつけるよう呼びかけました。街中でチュチュをつけている人を見かけたらベルを鳴らすようにしたり、そうやってコミュニケーションのきっかけをつくりました。

ポートランドは自転車で ゆったり周るのがおすすめ

翌2021年にはリアルのイベントに戻り、各自のワクチン接種の時期や感染拡大状況にも柔軟に対応できるよう開催期間を3カ月に拡大。そして、2022年のPedalpaloozaは過去最高の盛り上がりでした！　いろんなテーマやルートの800以上のライドが開催され、そのうち500以上は家族で参加しやすいライドでした。コロナ禍の前よりもライドのテーマや企画者が何百と増えて、より多様になりましたね。

またここ数年はコロナ禍だけでなく、いろいろな政治的な問題もあったので、自転車は人が集まり、メッセージを発信するためのツールとしても認識されるようになりました。自転車で移動しながらのプロテストは、車でのパレードや公園での座り込みよりも効果的だと気付いたのです。

ポートランドを訪れたら、ウィラメット川沿いや、ダウンタウンから橋を渡ってイーストサイドのネイバーフッドの目的地まで、自転車で行ってみるのもおすすめです。徒歩や自転車でゆったりと周りながら、通行人を眺めている猫や、収穫したリンゴをカゴに入れている人、美しくペイントされた家など、何気ない日常の風景に出会えるのもポートランドの魅力です。

ミーガン・シノット

アラスカ州出身。2001年からポートランド在住。長年、Pedalpalooza BIKE SUMMERのオーガナイザーを務め、自転車ライドやコミュニティイベントの運営に携わっている。ポートランドでのサイクリングをみんなが楽しめるものにするために、熱意とサービス精神を持って取り組んでいる。

DIG

ヴィンテージや、店主の審美眼によりセレクトされたクラフトや雑貨などの商品。それらに触れ、自分に合ったものを探すことで、好奇心や価値観を広げてくれるお店の数々。

Arium Botanicals

ラテン系のクィアでヴィーガンのオーナーたちによるグリーンショップで、初心者から熱心なコレクターまで、くつろぎながら植物を選べる。ハンドメイドの鉢も販売。

アリウム・ボタニカルス / 2046 NE MLK Jr. Blvd.
ariumbotanicals.com ariumbotanicals

Beam & Anchor

工業地帯の倉庫を改装。新品とヴィンテージの家具やインテリア、雑貨などが並び、インスピレーションに富んだスペース。

ビーム&アンカー / 2710 N Interstate Ave.
beamandanchor.com beamandanchor

Blue Moon Camera

フィルムカメラやレンズを扱い、現像やプリントも行う。フィルムがある限り、アナログ文化を守り続けることを誓うショップ。

ブルームーン・カメラ / 8417 N Lombard St.
bluemooncamera.com bluemooncamera

lowell

オーナーのMayaは多くの地元アーティストと長期的にコラボレート。希少な手づくりのオブジェやアート、クラフトを扱うショップ&ギャラリー。2022年により広くなった現店舗に移転。

ローウェル / 2136 E Burnside St. / lowellshopgallery.com
lowellshopgallery

Cargo

歴史ある元倉庫の中で、様々な時間と場所を旅するように、地元と海外の職人たちによる服やインテリア、雑貨などに出会える。

カーゴ / 81 SE Yamhill St. / cargoinc.com
cargoinc

Hippo Hardware

ドアノブや蛇口、ヴィンテージの照明などがぎっしりの金物店。古い家をリノベートして住むポートランドの人々の強い味方。

ヒッポ・ハードウェア / 1040 E Burnside St.
hippohardware.com hippohardware

House of Vintage

60軒以上のディーラーが入り、バラエティ豊かな古着やアクセサリーなどが見つかる、市内最大規模のヴィンテージショップ。

ハウス・オブ・ヴィンテージ / 3315 SE Hawthorne Blvd.
houseofvintagenw.com/portland/ houseofvintagepdx

Laundry

地元のトレイルブレイザーズをはじめバスケットボールのものなど、ヴィンテージのスポーツウェアや帽子などが豊富に揃う。

ランドリー / 1723 NE Alberta St.
laundrypdx.com laundrypdx

Pistils Nursery

観葉植物を取り入れたインテリアや都市型農業など、緑と暮らすライフスタイルを志向する人々を支えるグリーンショップ。

ピスティルズ・ナーサリー / 3811 N Mississippi Ave.
pistilsnursery.com pistilsnursery

Portland Flea

4月～10月の毎月最後の週末に開催のフリーマーケット。センスが光るヴィンテージの古着やアクセサリー、雑貨などが見つかる。

ポートランド・フリー / 721 NW 9th Ave.（土）& 240 SE Clay St.（日）
pdxflea.com portlandflea

Spartan Shop

アーティストやデザイナーによるオブジェや家具、照明、器などがギャラリーのように展示販売されているショールーム。

スパルタン・ショップ / 1210 SE Grand Ave.
spartan-shop.com spartanshop

Urbanite

地元のメイカーやデザイナーによるアイテムやアンティーク家具などが所狭しと並び、インテリアのアイデアを刺激される空間。

アーバナイト / 1005 SE Grand Ave.
urbanitepdx.com urbanitepdx

Worn Path

アウトドア・ライフスタイルのアパレルとグッズを販売。オリジナルのTシャツや帽子も人気。モットーはBE OUTSIDE。

ウォーン・パス / 4007 N Mississippi Ave.
worn-path.com wornpathstore

The Yo Store

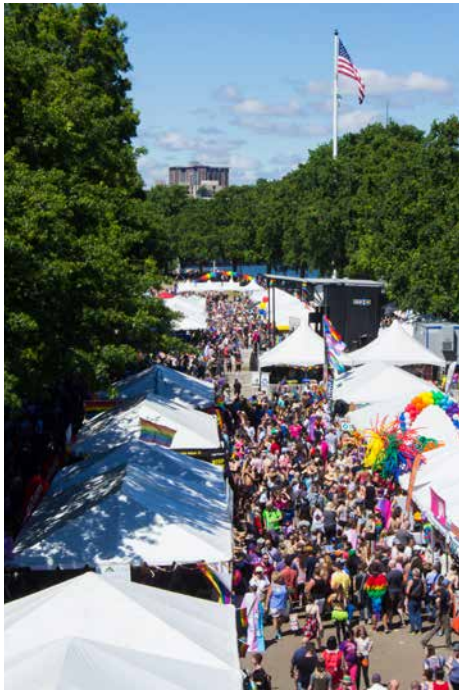
レディースものと子供服などキッズ用のもの、ホームグッズが一度に揃う、女性オーナーによるカラフルなライフスタイルストア。

ザ・ヨー・ストア / 935 NW 19th Ave.
yoportland.com theyostore

Debra Porta

Executive Director
Pride Northwest

コミュニティのすべての人々を引き上げるのがプライドの役割



Pride Northwest
プライド・ノースウエスト

pridenw.org
pridenorthwest

Portland Pride Waterfront Festival and Parade
portlandpride.org

ポートランドでのプライドイベントを主催する団体Pride Northwestで、初めは2006年に学生ボランティアとして、2016年からはエグゼクティブディレクターとして運営に携わっています。裏方の準備はかなりの仕事量で大変なこともありますが、15年以上にわたって私が関わり続けているのは、プライドがコミュニティに対して貢献できることの可能性を信じているからです。

※「プライド」とは、性的マイノリティの人々が自分自身に誇りを持ち、多様性を認め、その心意気を示そうという概念であり、LGBTQIA2S+コミュニティ自体やパレードのことを指す場合もある。ポートランドはゲイ・フレンドリーな都市として知られており、Pride Northwestは1994年から毎年、ウォーターフロント・パークをメイン会場にして「Portland Pride Waterfront Festival and Parade」を主催している。

初めてポートランドプライドでボランティアをした時の衝撃は、今でも忘れられません。公園のゲートでパレードの到着を待っていた私は、人が集まるにつれて言い表せないエネルギーの高まりを感じていました。エールを送りながら「参加者たちは存在を受け入れられるだけではなく、祝福されるような場所を探していたのかもしれない」と思ったんです。そして毎年、あの時の私と同じように初めてパレードを見てパワフルな体験をし、喜びに満ちた顔を目の当たりにしています。

また、「ポートランドプライドは大規模なのに、小さな町でのプライドのような雰囲気がある」という声をよく耳にします。例えば、パレードで登場するフロート（飾り付けされた乗り物）の中にはプロによる素晴らしいクオリティの作品もありますが、手づくり感満載の装飾や、荷台にスピーカーを乗せただけのトラックもそのすぐ後に続いたりと画一的ではありません。パレードに行く、というよりはみんなで一緒の空間にいる、というコミュニティのような感覚です。

私たちはパンデミックを経たことで、あらためてプライドのルーツに立ち返り、もっと高めていきたいという気持ちが強くなりました。

プライドは単なる大規模なパーティーやパレードではありません。集まる人の数とエネルギー、祭典の認知度を活用して、コミュニティのすべての人々、とりわけ社会から取り残されそうになっている人たちを引き上げるという役割を担っています。

プライドがある週のポートランドは人それぞれの楽しみ方が見つかる

パレードの企画以外にも私たちは組織として、若い人たちと一緒にコミュニティを築くことにも取り組んでいます。特にここ数年のコロナ禍ではより直接コミュニティに関わり、他の小さな組織とも連携して、食糧難や住宅難の人々のサポートやパンデミックについて知るためのリソースの提供などを行ってきました。

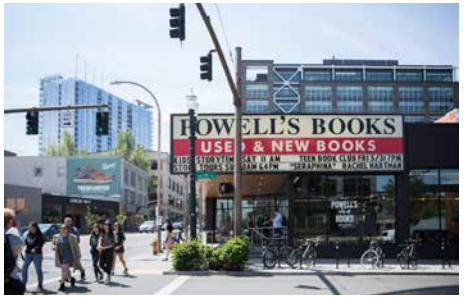
最後に、Waterfront Festival and Paradeの開催は毎年6～7月頃ですが、たいてい3月には詳細が発表されるので、参加したい方は気になる団体に連絡を取ってみてはいかがでしょうか（2023年は7月15、16日に開催予定）。観客として見に来たいという方のお越しももちろん歓迎します！　それにプライドがある週のポートランドは、街のバーやコミュニティセンターなどでもイベントがあったりと、いたるところでお祝いムードなので、人それぞれいろんな楽しみ方が見つかると思います。

デブラ・ポータ

テキサス州出身。2006年にPride Northwestでボランティアを始め、理事長を経て、2017年からはエグゼクティブディレクターを務めている。その間、Pride Northwestは、毎年開催されるPortland Pride Festival and Paradeの主催者として、全米で認知されたプライド団体に成長した。デブラはプライドでの活動以外にも、様々な草の根のコミュニティグループを支援し、アドバイスを行っている。

THINK

歩いたり、走ったり、自転車に乗りながら、ポートランドで考える。いつもとは違う思考やアイデアのヒントは、書店の本のセレクトからも得られるかもしれない。



Powell's City of Books

独立系書店としては世界一の規模で、街の文化を長年支えるランドマーク的存在。新品と古本を併売するのも特徴で、100万冊以上が並ぶ、広いフロアを行き来するのも楽しい書店。

パウエルズ・シティ・オブ・ブックス / 1005 W Burnside St.
powells.com powellsbooks

Architectural Heritage Center

ポートランドの人々と建築の過去と未来をつなぐ。関連する様々なテーマの公開プログラムやツアー、ギャラリー展示を開催。

アーキテクチュアル・ヘリテージ・センター / 701 SE Grand Ave.
visitahc.org visitahc

IPRC（Independent Publishing Resource Center）

zineやアートなどをつくるためのツールや学びの機会をメンバーに手頃な価格で提供し、DIYによるクリエイティブ表現を支援。

インディペンデント・パブリッシング・リソース・センター
318 SE Main St., Suites 144 & 155 / iprc.org iprc_pdx

Monograph Bookwerks

新旧問わず世界中からセレクトされた現代アートや建築、デザインなどの本と、珍しいオブジェやアートが並ぶアートブック専門店。

モノグラフ・ブックワークス / 5005 NE 27th Ave.
monographbookwerks.com monographbookwerks

Mother Foucault's Bookshop

レアものを含めて文学、哲学などの書籍を扱う。プライベートな書斎のような空間で、詩の朗読会や出版記念イベントなども開催。

マザー・フーコーズ・ブックショップ / 523 SE Morrison St.
motherfoucaultsbookshop.com motherfoucaultsbooks

Passages Bookshop

1997年からポートランドで営業。2022年初めに現在の場所に移転。ポエムや文学、アートなどの希少本が並ぶ。来店は要予約。

パッセージズ・ブックショップ / 1801 NW Upshur St., Suite 660
passagesbookshop.com passages_bookshop

PNCA（Pacific Northwest College of Art）

街のクリエイティブを活性化するアートカレッジ。無料公開プログラムやギャラリーでの展示も年間をとおして開催。

パシフィック・ノースウエスト・カレッジ・オブ・アート
511 NW Broadway / pnca.willamette.edu p_n_c_a

LOVE

自分の好きなものに熱中したり、それぞれが愛を表現したり。ドラァグクイーンのショーやスケートボード、アーケードゲーム、タトゥーもすべて愛。ここには様々な愛のかたちがある。

Darcelle XV

地元のエンターテインメントのレジェンドである世界最高齢の現役ドラァグクイーン、ダーセル15世のキャバレー。1967年以来、華やかなショーで観客を魅了し続けている。

ダーセル・フィフティーン / 208 NW 3rd Ave.
darcellexv.com darcellexvshowplace

Cal Skate

スケーターによるスケーターのための店として1976年にオープン。地元でデザインされたものを含め、1000個以上のデッキを扱う。

カル・スケート / 210 NW 6th Ave. / calsk8.com
calsk8

CC Slaughters

ダウンタウンにあるエネルギッシュなクィアのナイトクラブ。大きなダンスフロアがあり、ドラァグショーやDJイベントなどを開催。

CCスローターズ / 219 NW Davis St./ ccslaughterspdx.com
slaughterspdx

Commonwealth Skateboarding

倉庫を改装してつくられた、コンクリートの室内スケートパーク。スケートギアやアパレル、シューズを扱うショップを併設。

コモンウェルス・スケートボーディング / 1425 SE 20th Ave.
commonwealthskateboarding.com commonwealthskate

Ground Kontrol Classic Arcade

あれこれプレーしたくなる、懐かしのアーケードゲームやピンボールマシンが120種類以上並ぶ。バーにはタコスなどのフードも。

グラウンド・コントロール・クラシック・アーケード / 115 NW 5th Ave.
groundkontrol.com groundkontrol

Icon Tattoo

アメリカの伝統的なスタイルとデザインのタトゥーを得意とするアーティストたちが在籍。アートが飾られ、自然光が心地いい空間。

アイコン・タトゥー / 813 N Russell St.
icontattoostudio.com icontattoo

Sandy Hut

板張りの壁や茶色のソファーなど暖かみのあるレトロな雰囲気の中で、お酒とクラシックなパブフードを楽しめるダイブバー。

サンディー・ハット / 1430 NE Sandy Blvd.
sandyhutpdx

SLEEP

歴史あるホテルから、新しいコンセプトのホテルまで。1人旅でもグループでの旅行でも、したい旅のスタイルや価値観に合わせて、ネイバーフッドやステイ先を選べる。

Lolo Pass

2021年オープン。バンクルームもあるスタイリッシュで手頃な価格のホテル。ルーフトップバーやロビーのギャラリーもあり、平日はヨガやワインなどのイベントも開催。

ロロ・パス / 1616 E Burnside St. / lolopass.com
lolopasspdx

Ace Hotel

今や米国内外の10以上の都市にあるAce Hotelのルーツを感じられるのが、2007年にオープンしたここポートランド。

エース・ホテル / 1022 SW Harvey Milk St.
acehotel.com/portland/ acehotelportland

The Benson

1913年に開業したヨーロッパスタイルのエレガントなホテル。多くの歴代アメリカ大統領が宿泊したことでも知られる。

ザ・ベンソン / 309 SW Broadway / bensonhotel.com
thebensonhotel

Jupiter NEXT

2018年にオープンした街の東側の活気あるエリアに位置するラグジュアリーなホテル。バー・レストランHey Loveを併設。

ジュピター・ネクスト / 900 E Burnside St.
jupiterhotel.com/the-next jupiterhotel

McMenamins Kennedy School

廃校になった小学校を改装し、ユニークなホテルに。ブルワリーやレストラン、映画館などがあり、幅広い年齢層でにぎわう。

マクメナミンズ・ケネディ・スクール / 5736 NE 33rd Ave.
mcmenamins.com/kennedy-school mcmenamins

KEX

アイスランド発のホテル。デザイン性の高い空間は、世界中から集めた古材を活用。部屋はシックで快適でバンクルームもある。

ケックス / 100 NE MLK Jr Blvd. / kexhotels.com
kexportland

The Society Hotel

かつて船員の宿だった建物を改装。ダウンタウンでは唯一のバンクルームのあるホテル。ロビーには居心地のいいカフェがある。

ザ・ソサエティ・ホテル / 203 NW 3rd Ave.
thesocietyhotel.com/portland/ societyhotel

A warm hello from Portland “The City of Roses!”

バラの街ポートランドからごあいさつ

Mayor
Ted Wheeler

新型コロナウイルスによるパンデミックが都市に引き起こした課題は歴史的に例を見ない規模のものでしたが、ポートランドは徐々にその影響から回復しつつあります。この街の住民が持つ強じんかつ革新的な精神に支えられて、ポートランドはポジティブな方向に進化し続けています。

美食の街として知られるポートランドには才能のある新人シェフたちがやって来て、全米でも話題になる新しいレストランが開店しています。人気のフードカートでは、美味しく創造的な一皿が次々と繰り出されます。市内のフードカートの数は数百軒にもなり、街のそこここで美味しい出会いが待っています。そしてレストランでは、コロナ禍で感染対策として設置し始めた屋外の席をそのまま使い続けることが定番になっています。今、ポートランドのストリートでは、人気のお店の屋外テーブルがズラッと並んでいる様子が普通になりました。

ネイバーフッドも賑わっています。パンデミックの初期、住民は自宅の周辺にとどまっていたため、市の中心部から近いエリアに人が集まり、新しいお店などが増えました。ダウンタウンでは劇場やコンサートホールでのイベントが再開されるようになり、街の中心部のパイオニア・コートハウス・スクエアでは夏の屋外コンサートシリーズも始まりました。

緑豊かなフォレストパーク、マウント・テイバー、ワシントンパークといった公園はオレゴンのアウトドアを楽しむ人たちであふれています。数百キロにもおよぶ自転車トレイルにはサイクリストが集い、近年開通した2つの自転車・歩行者専用の橋のおかげで、自転車利用がさらに便利になりました。市内には自然のままの森が保護されていて、緑の中のハイキングを多くの人が堪能しています。

ここ数年に起こった課題は誰にも予想できないものでした。しかしながらポートランドの人たちの負けない力と粘り強さ、不屈の精神でここまで乗り切ることができ、そして未来の光も見えています。

「バラの街」とも呼ばれるポートランドへ、皆さまを心の底から歓迎いたします。初めての方もリピーターの方も、ポートランド全体で喜んでお迎えいたします。

ポートランド市長　テッド・ウィーラー

BASIC INFORMATION of PORTLAND

ポートランドの基本情報

街の成り立ち

ポートランドはコロンビア川とウィラメット川の2つの川が合流する地点に位置し、市の中心をウィラメット川が南北に流れる。ウィラメット川がWESTとEASTの境界で、バーンサイド通りBurnside St. がNORTHとSOUTHの境界。ノース（N)、ノースイースト（NE)、サウスイースト（SE)、サウス（S)、サウスウエスト（SW)、ノースウエスト（NW）の6地区に大きく分けられる。
道路は基本的に南北に走る道がAvenue（Ave.)、東西に伸びる道がStreet（St.）となっている。Avenueはウィラメット川から近い順に番号が付けられている。(SW 1st Avenue, SW 2nd Avenueなど）

Facts

人口
ポートランド市内----------65万人
ポートランド都市圏 --------251万人
（2020年米国統計局人口推計）

時間帯
太平洋標準時（PST）
日本との時差----------－17時間
（サマータイム時－16時間）
※サマータイム　3月第2日曜日から11月第1日曜日まで

姉妹都市----------札幌市（1959年～）

在ポートランド領事事務所
Consular Office of Japan in Portland
Wells Fargo Center, Suite 2700, 1300 SW 5th Ave.
電話（503）221-1811

Weather

春
春に入ってもにわか雨が続くが、時に晴れ間ものぞき、長く雨の降らない期間もある。典型的な春の日は、午前中は雨で午後から晴れて青空が見える。気温が温暖で3月上旬には花が咲き始める。
服装：重ね着のできるものと軽いレインジャケット。

夏
7月から9月、日中は暑くなるが（平均最高気温26℃)、湿度が低く快適な気候。雨はほとんど降らず、6月と7月は午後9時頃まで日が沈まず長い夕べを楽しめる。
服装：夏服。晩は冷えることもあるので軽い上着が必要。

秋
10月は比較的穏やかな気候で晴れの日も多い。気温が下がり始めて、紅葉が始まり、雨の日も。11月と12月には気温がさらに下がり、雨も多くなってくる。
服装：重ね着のできるものとレインジャケット

冬
それほど寒くならないが、毎年、数日氷点下になる日もある。雪が降ることは稀。ポートランドで雨が降っている時には、近くのマウントフッドでは雪が降っている。
服装：コート、フリース、雨に強い靴、スキー用具

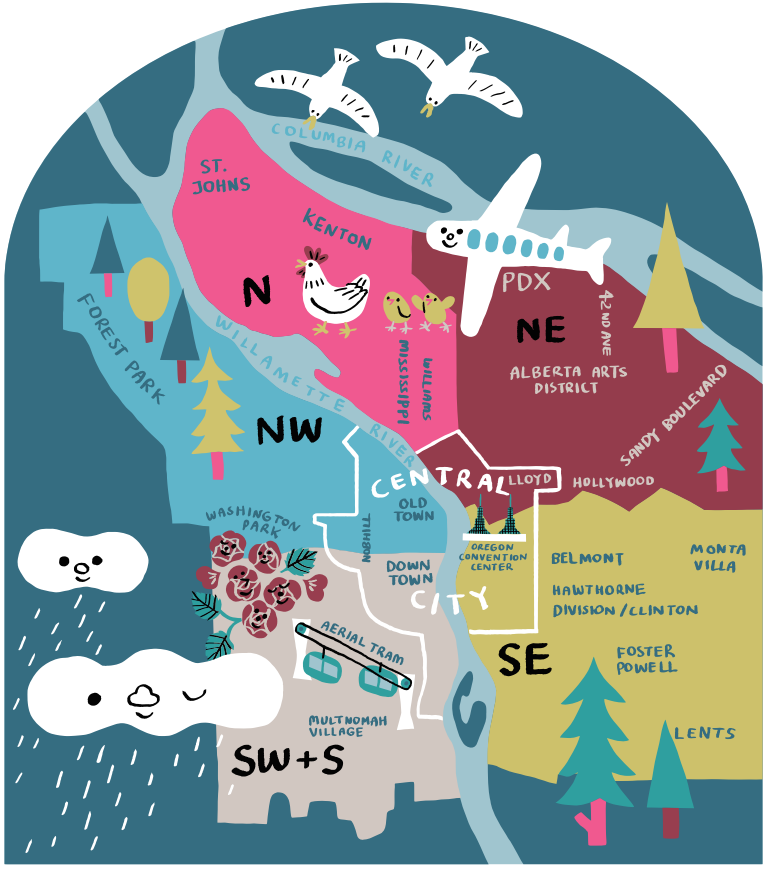


Illustration: Subin Yang

Getting to Portland

ポートランドへの道のり

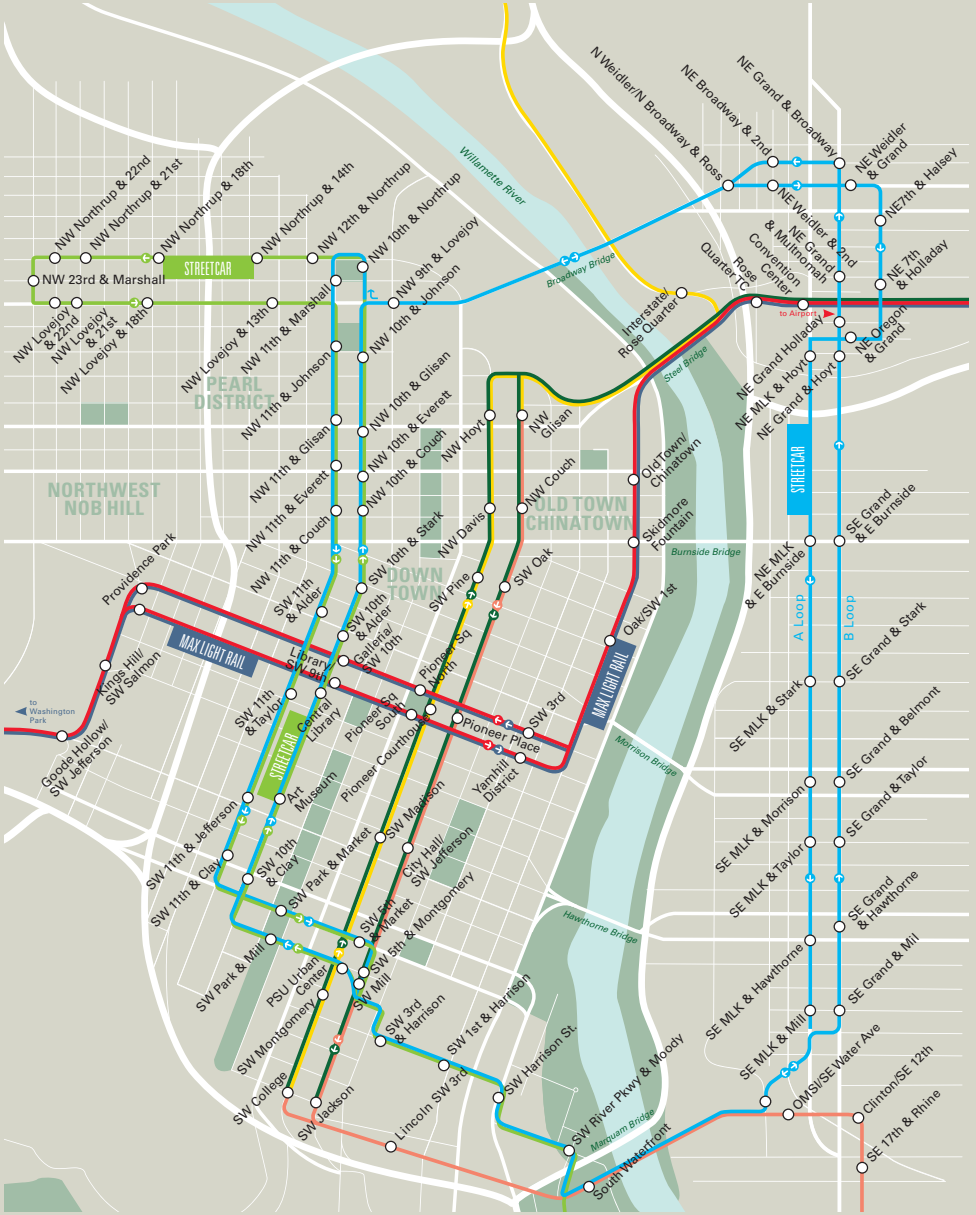
ポートランドまでの飛行機

羽田空港からデルタ航空の直行便でポートランド国際空港（PDX）まで約9時間半。(2023年春時点運休中)。シアトル、バンクーバー、ロサンゼルスからの乗り継ぎでも便利です。

空港からダウンタウンへ

空港はポートランドのダウンタウンから約15km、北東に位置しています。ダウンタウンまでMAXライトレールで約40分。タクシー、ライドシェアでは約20～40分。

MAX Light Rail and Portland Streetcar



Getting Around

ポートランド市内の歩き方

ポートランドでは地元の人たちと同じように公共交通機関を乗りこなしたり、自転車に乗ってみるのはいかがでしょうか。歩行者優先のネイバーフッドでの街歩きも楽しいものです。

公共交通機関はトライメット（Trimet）が運営しています。ウェブサイトtrimet.orgでは次の便の到着時刻がわかるTransit Trackerや旅程を調べるTrip Plannerが役に立ちます。グーグルマップなどと併せて活用して、ポートランドの隅々まで行ってみましょう。

MAX Light Rail

マックス・ライトレール

全部で5路線の路面電車で、市内と空港および周辺地域をつないでいます。5路線のすべてがダウンタウンを経由。約15分間隔で運行していますが、早朝、昼の時間、夜半はやや間隔が長くなります。レッドラインRed Lineはポートランド国際空港からダウンタウンへ行くことができます。

[運賃と購入方法]

Adult（18歳～64歳）

$2.50（2時間半有効）、$5（1日券）

各駅にある券売機やパイオニア・コートハウス・スクエアのトライメット・インフォメーションセンター、コンビニエンスストアなどの取り扱い店で、乗車券「ホップ・チケット HOP Ticket」またはICカード「ホップ・カード Hop Card」を購入できます。

Apple Pay、Android Pay、Samsung Payなどのスマートフォンの決済機能を使う方法や、Hop Fastpassアプリを通じて支払う方法もあります。

[利用方法]

MAXの駅には改札はありません。乗車前に駅に設置されている緑のHOPリーダーにHOPチケットやHOPカード、スマートフォンをタップして下さい。

駅の標識やモニターには乗車位置や次の車両の到着予定が表示されています。それぞれの車両前面には、路線の色と行き先が表示されています。

Trimet Bus

路線バス

ポートランド市内と郊外を網羅するトライメットのバスは車椅子にも完全対応しています。ほとんどのバスが自転車ラックを装備しており、自転車と組み合わせて利用することができます。

[運賃]

MAXライトレール、ストリートカーと共通。

[利用方法]

前扉から乗車し、乗車の際に運転手席横のHOPリーダーにHOPチケットやHOPカード、スマートフォンをタップするか、料金箱に現金を入れてチケットをもらいます（おつりは出ないのでぴったりの料金を用意しておきましょう）。バス後ろのドアは降車専用です。

Portland Streetcar

ポートランド・ストリートカー

市の中心部を通る路面電車で、3路線。平日と土曜日は約15分おき、日曜日は20分おきの運行。

NSライン（ポートランド州立大学、ダウンタウン、パールディストリクト、ノースウエスト・ノブヒル地区）

AループとBループ（ダウンタウン、パールディストリクト、ロイド地区、セントラルイーストサイド、ポートランド州立大学）

Aループは時計周り、Bループは反時計周りの環状線。

[運賃]

MAXライトレール、路線バスと同じチケットが有効なほか、ストリートカーのみ2時間半有効のチケットは$2。プラットフォームの券売機はカードのみ受付。

［利用方法］
チケット、パス、スマートフォンを乗車前にプラットフォームのカードリーダーにタップします。降りたい駅が近付いたら、窓際にある黄色いテープを押して降車の合図をします。

Bicycle
自転車に乗る

自転車ルートが整備され、自転車シェアリングや自転車イベントが充実したポートランドは自転車に最高の環境です。自転車ルート地図は自転車ショップ、オンラインで入手できます。

レンタサイクル

Cycle Portland Bike Tours---------portlandbicycletours.com

Everybody's Bike Rentals---------pdxbikerentals.com

Biketown
自転車シェアリング

オレンジ色の電動アシスト自転車1500台が市内サービスエリア内、180のステーションに配備されています。利用するにはBiketownのアプリまたはウェブサイトでメンバー登録が必要です。最寄りのステーションから電動自転車の利用を開始し、乗車し終わったら、ステーションに返却します。
利用料金は利用ごとに$1の基本料金プラス、1分につき$0.30。

biketownpdx.com

E-Scooters
Eスクーター・シェアリング

Eスクーター（電動キックボード）のシェアリング。Lime、Bird、Spinの3社が参入しており、いずれもアプリをダウンロードして登録することで利用できます。

タクシーとライドシェア

ライドシェアは、Lyft とUberの各配車アプリを通して利用できます。主なタクシー会社（Radio Cab、Broadway Cab、PDX Yellow Cabなど ）のタクシーは各社のアプリや電話で配車できるほか、ホテルのタクシー乗り場で乗車できます。

Portland Visitor Center
ポートランド・ビジターセンター

2023年夏、ダウンタウンのウエストエンド地区にオープン。観光情報や地図が入手できます。

1132 SW Harvey Milk St., Suite 104

電話 (503) 427-1372

日本語ウェブサイト: travelportland.jp odnarotravel

Around the Region
周辺地域紹介／現地ツアー

ポートランドの魅力のひとつが大自然へのアクセスが簡単なこと。ダウンタウンから1時間のドライブで、渓谷沿いの滝めぐりや万年雪を抱く山でのハイキング、世界一級のワインの産地へ出かけることができます。効率よく周るには日帰りツアーを利用するのもひとつの手です。

Columbia River Gorge
コロンビア川渓谷

ポートランドから約50km東にある国定景勝地域。コロンビア川沿いに絶壁が続く雄大な風景が広がる。大小90の滝があり、その中でもマルトノマ滝は落差148mと全米有数の有名な滝。多数のハイキングコースがある。渓谷沿いのフッドリバーの町はウィンドサーフィンをはじめとするウォータースポーツのメッカでもある。

hood-gorge.com hoodgorge

Mt. Hood
マウントフッド

標高3424mのオレゴン州最高峰。ポートランドから1時間あまりで行くことができる。5つのスキー場があり、ハイキングや釣り、キャンプなどアウトドアに最適の地。中腹にある歴史的ロッジTimberline Lodgeは1937年に大恐慌救済政策として、職人や芸術家が雇用されて建てられた芸術的建物。名作ホラー映画「シャイニング」の撮影舞台になった。併設のスキー場は夏もオープン。

mthoodterritory.com mthoodterritory

Wine Country
ワインカントリー

ウィラメット・ヴァレーは世界的にも優秀なワイン産地として知られ、育てるのが難しいと言われるピノノワール種が多く栽培されている。緑豊かなカントリーサイドはワイン愛好家にとって、日帰りまたは泊りがけの遠出にぴったりの環境。ダウンタウンから1時間以内で多くのワイナリーやテイスティングムールへ行くことができる。

tualatinvalley.org tualatinvalley

Portland Tours

ポートランドの現地ツアー

近郊の大自然へ気軽に行ける日帰りツアーや、ポートランドをより深く知ることのできるガイド付きツアー。ビールや自転車、食べ物などに特化したテーマ別のツアーもあります。(㊐＝日本語ツアーあり)

［観光ツアー］

America's Hub World Tours
アメリカズ・ハブ・ワールドツアーズ
americashubworldtours.com

Gray Line Portland
グレイライン・ポートランド
graylineofportland.com

Wildwood Adventures
ワイルドウッド・アドベンチャーズ
wildwoodtours.com

［フード＆ドリンクツアー］

Forktown Food Tours
フォークタウン・フードツアーズ
forktown.com

Lost Plate Food Tours
ロスト・プレート・フードツアーズ
lostplate.com/portland-food-tour

Third Wave Coffee Tours ㊐
サードウェーブ・コーヒー・ツアーズ
thirdwavecoffeetours.com

オ州酒（ビールツアー） ㊐
oshuushu.com

City Brew Tours
シティ・ブルーツアーズ
citybrewtours.com/portland

［自転車＆アーバンハイキングツアー］

Around Portland Tours
アラウンド・ポートランドツアーズ
aroundportlandtours.com

Cycle Portland Tours
サイクル・ポートランドツアーズ
portlandbicycletours.com

［ボート・ツアー］

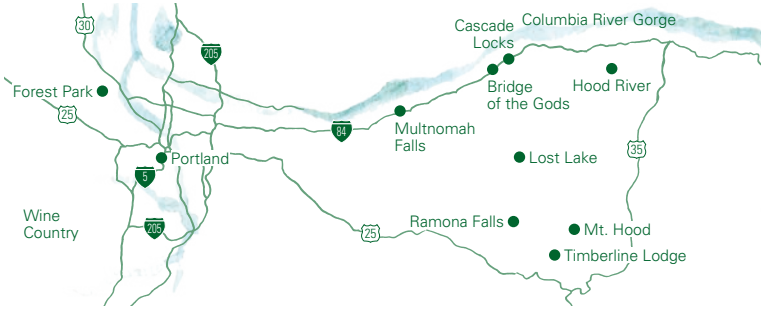
Portland Spirit River Cruises
ポートランド・スピリット・リバークルーズ
portlandspirit.com

［日本語OKのポートランドの旅行会社］

Kanemasu
kanemasu.us

Portland Education Tour Center NTS
educationtourcenter.com

US-J Connect
us-jconnect.com



PORTLAND MINI GUIDE 2023-24

編集：ポートランド観光協会
True Portland編集チーム
（メディアサーフコミュニケーションズ株式会社）

写真：クリスティーン・ドン、アーサー・ヒッチコック、間澤智大、
シェリー・ジェン、荒谷ノーマ、ポートランド観光協会

アートディレクション・デザイン：大西真平
編集アシスタント：藤本麻子
印刷・製本：株式会社誠晃印刷

Edit: Travel Portland
True Portland editorial team
(Media Surf Communications Inc.)

Photo: Christine Dong, Arthur Hitchcock, Tomohiro Mazawa,
Sherry Zheng, Norma Aratani, Travel Portland

Art Direction and Design: Shinpei Onishi
Assistant Editor: Asako Fujimoto
Printing and Book binding: SEIKO Printing CO.,LTD

travelportland.jp

©2023 Travel Portland

2023年4月1日発行

P M

PORTLAND MINI GUIDE 2023–24

G